

大会会期中の各会場状況（第1日・6/22）

A会場：県営野球場ビッグNスタジアム

B会場：かきどまり野球場

C会場：いさはや第1野球場

D会場：大村市野球場

令和6年の北部九州地方は、平年より約2週間遅い6月17日(月)に『梅雨入り』し、大会期間の22日(土)から三日間は会場周辺もその影響を被った。

前日の21日(金)は好天であったが、夜半からの予報が悪天候。未明には少雨状態となり、各会場とも開始時間に多少のズレはあったが試合開始。

A会場 = 09:00→09:41

B会場 = 09:00→13:01

C会場 = 09:00→10:04

D会場 = 09:00→08:58

一番災難だったのがB会場。かきどまり野球場は山上にあり、雨雲等が発生しやすいが、今回の難敵は『霧』。この悪条件の中で活躍したのが、試合速報共有グループ(12人が加入)のLINEであった。各会場から『試合速報用紙』を使用し、試合開始時→5回終了時→試合終了時に画像をグループLINEに送信するシステムであった。それが、意外な効果を発揮し、グラウンド状況の報告や、現場画像送信などに利用することができた。

その発信の一部を…。一番最初は大村から05:14に「おはようございます。大村は今のところ雨は降ってません」。

次いで諫早から05:26に「諫早は先ほどから雨が降りだしました。かなり強い雨になりました」。大村から05:31に「大村も降り始めました」。

長崎市B会場は05:33に「かきどまりは現在降っていません!」。

その18分後の、05:51に「かきどまりは小雨🌧️が降り始めました」。

そして…、08:55には「かきどまり球場は濃霧です」に添えて

衝撃的な画像が→

そんな中、大村からは09:00には始球式の画像が送信されました。



諫早は、約1時間遅れの始球式



A会場は人工芝の強みで、予定より41分遅れての開始。



シートノックはできないがサイドノックで調整(09:17)

始球式は09:28



3会場では試合が始まったが、
B会場から10:13に配信があり
2枚の画像が添付。
「かきどまり砂を入れて
暫く待つてからの動きになります。
変わらず霧も取れない状態です！」



10:30には
「未だ濃霧です!!!」
と、2枚の画像



そして、3会場から
試合終了の連絡が
あった後の13:04に
「かきどまり、やっと
開始しました！」

選手も待たされたが
始球式の
女子中学生も…



第1日は一回戦10試合を予定しており、A会場と諫早が3試合。
かきどまりと大村が2試合ずつであり、大村の進行状況も良く、
照明も設備されていることから、かきどまり第2試合を大村第3試合に
変更した。対戦は、開催地(佐世保)－愛媛県。

B2試合の開始予定は、11:20であったが
会場移動して、14:28の開始。

スコアは15-3で愛媛県の7回コールド勝ち(試合時間1時間58分)
愛媛県は第2日も第3日も、そして順延した決勝戦まで進出した。

←空は青空となっているが、『油断大敵』。

第2日に又もや災難が待ち受けていた。

第1日の各会場の試合終了時間は、ビッグN(3試合)17:04 かきどまり(1試合)15:23 諫早(3試合)17:05 大村(3試合)16:26